

■第1回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

平成29年10月11日（水）、第1回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました。

羽山台まちづくり協議会と大牟田市合同で、午前中は校区内の空き家の現地確認、午後からは、午前中の現地確認の感想を踏まえたディスカッションや活動内容及び目標の共有化などを行いました。

【午前】（羽山台校区内の現状把握）校区内のピックアップした地区の現地確認

○羽山台校区内を歩いて空家の状況などを確認しました。



○いろいろな空家があります。



【午後】（活動内容及び目標の共有化等）竹の原団地集会所にて

○午前中の現地確認の感想を踏まえたディスカッションや活動内容及び目標の共有化などを行いました。



○午前中の現地確認の主な感想

- ・「かくれ空き家」が多い。
- ・想像以上に空き家が多かった。
- ・積極的な情報収集が必要。
- ・現状を把握して所有者の特定をすることが大事。
- ・地域のチカラを感じた。
- ・将来的には、発生抑制に重点を置きたい。
- ・地域の誰かが連絡先を知っていることが望ましい。

○午後確認したこと

- ・プロジェクト名称は「羽山台空家対策プロジェクト」に決定。
- ・活動内容としては、まずは特定の空家を対象とせず、対応できるものから取り組んでいき、今後、随時見直していくことを確認。そのためには所有者の意向を確認することが必要。
- ・今年度の目標は、(プロジェクト概要)に沿ってプロジェクトを進めていき、その中で空家台帳やデータなどを整備していくことを確認。
- ・次回の第2回羽山台空家対策プロジェクトは11/13(月)13:30開催予定。

【編集後記】

校区内を歩いてみると、空き家と言っても実に多種多様な物件があることがわかりました。

まだまだ使用できそうなものから、随分とくたびれたものまで…。

空き家のひとつひとつには、その数だけ人々の営みがあったはずです。

そのようなことに思いを馳せながら、少しでもこのプロジェクトが成功するよう歩を進めていければと思います。(K)

■第2回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

平成29年11月13日(月)、第2回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原団地集会所にて開催し、先月開催した第1回プロジェクト会議で話し合った内容について、具体的に進めていく方法等について協議しました。



【協議事項等】

- 羽山台校区内の担当民生委員にお願いし、住宅地図に空家をマーキングすると共にリスト化する。
- 空家台帳を作成し、分かる範囲で所有者等の情報を整備する。
- 空家対策促進状況をリスト化して管理する。
- 空家所有者等への意向調査をする場合は2名で訪問する。
- 空家相談を受けた時に使用する相談受付台帳を整備する。
- 当プロジェクトのメンバーが空家相談者等のフォローアップを行うことを検討する。
- 空家に関するアンケートを12月初旬に配布する羽山台通信（月1回配布）と一緒に配布する。
- 空家の維持管理については、次回の会議までに各自考えておく。

・次回の第3回羽山台空家対策プロジェクトは12/25（月）13:30開催予定。

【編集後記】

第1回プロジェクト会議では校区内の空家現地確認、活動内容及び目標の共有化を含む様々な意見交換等を行い、第2回プロジェクト会議では、それを推進するための具体的な方法について協議しました。

今回の会議は、皆で知恵を寄せ合い、漠然としている部分を具体的なものにしていく過程となりましたが、一歩ずつ着実に前進していると感じさせるものとなりました。

共通の目標を持って活動していると、連帯感を感じることができます。

次回の第3回プロジェクト会議は、その連帯感を感じながら、皆で成果を出すべく頑張っていきたいと思います。（K）

■第3回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

平成29年12月25日（月）、第3回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原団地集会所にて開催し、次の内容について協議しました。



【協議事項等】

- 空家地図見直し
 - ・羽山台校区内の担当民生委員に協力してもらい、空家地図の見直し・修正を行った。
 - ・見直し・修正により、空家数はプロジェクトでの当初把握分から倍増する結果となった。

○空家台帳修正

- ・今後空家のランク付けを行う。

○アンケート回収状況報告

- ・羽山台校区内に配布した「空家対策に関するアンケート」に回答された方に話を伺い、対応をする。

○空家の適正な維持管理について

- ・管理会社紹介、空家所有者への今後の意向確認、空家の管理意識の啓発チラシの配布、福岡法務局が作成した相続登記の促進リーフレット配布などを検討。

○「新たな住宅セーフティネット制度」について

- ・平成 29 年 10 月に施行された制度の紹介。今後の活用を検討。

- ・次回の第 4 回羽山台空家対策プロジェクトは、平成 30 年 1 月 12 日（金）13:30 開催予定。

【編集後記】

老朽化している空家。苦勞して所有者を特定したものの、

『解体するお金が無い。』

『解体したら固定資産税の特例が受けられないから解体しない。』との主張。

本気ですか？誰が納得しますか？？

公益財団法人日本住宅総合センターのデータによると、

外壁材等の落下により、11 歳の子供が亡くなった場合、損害額は 5,630 万円との試算結果が想定されています。

空家の解体費はいくらですか？固定資産税の特例はいくらですか？

何かあってからでは手遅れです。それでも、空き家を放置しますか！

（出典：空き家問題の対策に向けて ～空き家問題へのアプローチと取組事例～
平成 28 年 3 月 福岡県建築都市部住宅計画課作成）

■第 4 回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

平成 30 年 1 月 12 日（金）、第 4 回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原団地集会所にて開催し、次の内容について協議しました。



【協議事項等】

○空家のランク付けについて

- ・1 月中に空家の不良度のランク付けを行う。

○空家の適正管理チラシ、相続登記促進リーフレットの配布について

- ・空家の適正管理チラシの案を作成し、内容の確認・修正を行い最終決定をした。
- ・空家の適正管理チラシと福岡法務局が作成した相続登記の促進リーフレットを、2 月に羽山台校区 2,500 世帯に配布予定。

○「空家対策に関するアンケート調査」回答者の意向確認の報告

- ・12 月初旬に羽山台校区に配布した「空家対策に関するアンケート調査」に回答された方に連絡をし、悩みや不安などを伺い空家の現地調査を行った。

○今後の進め方、具体的取り組みについて

○空家所有者の特定方法、所有者を把握している場合の対応について

○今年度のプロジェクトスケジュールの振り返り

A wide river flows through a landscape under a cloudy sky. The river is dark and calm, reflecting the overcast sky. The banks are lined with trees and some buildings are visible in the distance. The sky is filled with heavy, grey clouds.

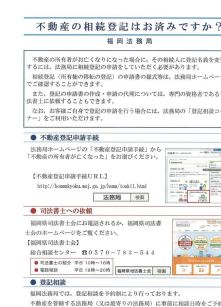
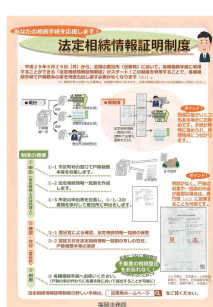
プロジェクト活動を、いつも穏やかに見守ってくれています。

【編集後記】

涵養とは、少しずつ養い育てること。一步一步進んでいこう。

平成30年2月20日(火)、第5回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原団地集会所にて開催し、次の内容について協議しました。

2月中旬に羽山台校区全世帯（2500部）にチラシを配布済。



○福岡県女性議員ネットワーク「2月研修会」の報告

羽山台プロジェクトの取り組みを説明したことを報告。

○平成29年度のプロジェクト成果について

○個別具体的取り組みについて

- ・対応しやすいところから対応する。
- ・所有者不明の場合は空家の表札などから近所に聞き込みや、法務局で調査する。
- ・現在、聞き込みするときは訪問先の方が不審に思わないように、自分達で作った名刺を持っていき訪問している。
- ・近所の方で情報が得られそうな方にも名刺を渡す。

○今後の取り組みについて、ローカルルールづくりについて

○平成30年度の取り組みと目標

- ・29年度に基礎づくりができたので、30年度は所有者の確定、意向確認をする。
- ・定期的に所有者に連絡し、意向確認、打診をする。
- ・定期的に現地を確認し、何かあれば所有者に連絡をする。
- ・所有者と接点を持ち続けることが大切。
- ・今後、このプロジェクトを通して地域の活動につなげていきたい。
- ・校区の将来の展望を踏まえて、プロジェクトを進めていくことも考えていく必要があるかもしれない。

○空家所有者へ意向確認をした近況報告

- ・次回の第6回羽山台空家対策プロジェクトは、平成30年3月13日（火）10：00～開催予定。

【編集後記】

プロジェクト会議でメンバーの一人が「うちの団地では、お盆や正月になると、車で帰省する方のため、空家の所有者に了解をもらって、臨時で駐車スペースを開放しよるよ」と発言。

「引っ越すことになりました。しばらく空家になりますが、何かあったらこの電話に連絡して下さい。」と、隣人や地域に挨拶があったのだろう。たぶん。

これも空家対策の一つ！

プロジェクトでは、このようなローカルルールについても検討を行います。

皆さんも、このような自分でできる空家対策を考えてみませんか？



■第6回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

平成30年3月13日（火）、第6回羽山台空家対策プロジェクト会議を三池地区公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

○「羽山台空家・空地対策遂行基準（案）」について
羽山台プロジェクトメンバーによる遂行基準の作成。

- ・基礎データの作成
- ・情報等の収集、整理、保管
- ・遂行体制
- ・定例会議
- ・具体的な進め方
- ・目標
- ・予算
- ・プロジェクト総括



○今後の進め方

- ・「新たなセーフティーネット制度」の活用。
- ・羽山台校区まちづくり協議会通信（羽山台校区広報）にプロジェクトの情報発信や、空家の悩み相談等の連絡先の記載を検討。
- ・空家所有者への積極的な意向確認。
- ・空家所有者不明の場合の、調査方法の検討。

【活動経過】

(平成 29 年)

- 8 月 10 日 モデル地区選定の承認＜まち協会議＞
- 9 月 13 日 プロジェクト(案)の提案及び承認＜まち協会議＞
- 10 月 3 日 コアメンバー会議
- 10 月 6 日 地元新聞掲載『羽山台校区モデル地区に』
- 10 月 11 日 第 1 回プロジェクト会議
- 10 月 12 日 地元新聞掲載『住民ならではの情報』
- 11 月 13 日 第 2 回プロジェクト会議
- 11 月 20 日 ホームページで情報発信
- 12 月 1 日 空家対策に関するアンケート調査実施（～15 日）
- 12 月 20 日 ホームページで情報発信
- 12 月 25 日 第 3 回プロジェクト会議

(平成 30 年)

- 1 月 12 日 第 4 回プロジェクト会議
- 1 月 18 日 ホームページで情報発信
- 1 月下旬 空家不良度判定に係る現地調査
- 2 月中旬 適正管理チラシ・法務局チラシを校区内配布
- 2 月 15 日 ホームページで情報発信

- 2 月 20 日 第 5 回プロジェクト会議
- 3 月 13 日 第 6 回プロジェクト会議
- 3 月 29 日 コアメンバー会議



- ・次回の羽山台空家対策プロジェクトは、平成 30 年 4 月 13 日（金）13：30～開催予定。

【編集後記】

今年度スタートした羽山台空家対策プロジェクトは、6 回実施することができました。

このプロジェクトは、本市初の取り組みであったことから、様々なことを模索しながら活動してきました。そして、地域の皆さんと様々な悩みや不安、そして地域の課題など、多岐に渡って話し合い、活動してきました。

地域の皆さんの積極的な取り組みや提案などがあり、月 1 回のプロジェクト会議で刺激を受けました。

残念ながら、私は人事異動のため今年度一杯の活動となりますが、次の担当者にしっかりとバトンを渡し、次年度にはプロジェクトの取り組みを発展させ、さらに住みよい地域となることを目指していけたらと思います。